

# 第60回全日本剣道選手権大会に出場して



高知県警察 西村 佳記

実力者で胸を借りる気持ちで試合に臨みました。試合では、相手の動きも良く見え、冷静に自分のペースで試合が運べ、2分過ぎに攻め込んで正面を打ち、これが一本となり、最後まで相手の反撃をしのぎ、目標であった高鍋選手と対戦することになりました。

高知県予選には、今度こそは絶対に優勝し全日本選手権大会に出場するという強い気持ちで臨みました。県予選では、一試合目に先に一本を取られ焦りましたが、気持ちを切りかえ、それからの試合は集中力を切ることなく試合を行え、出場権を獲得することができました。うれしさと同時に高知県の代表として恥じない試合をするという決意をした事を覚えていきます。

全日本選手権の組み合わせでは、私のゾーンに二連覇中の高鍋選手（神奈川県）がおり、高鍋選手と試合がしたいという強い思いと目標を立て大会に臨みました。

一回戦は、興梠選手（大分県）と対戦しました。この舞台で試合するのは初めての経験であり緊張するかと思いましたが、なんとか自分のペースで試合ができ、延長に入ると同時に返し胴を決めて勝つことができました。

二回戦は、石井選手（千葉県）と対戦しました。石井選手は過去ベスト8の実績を持つ

三回戦は、目標であった高鍋選手と対戦となりました。結果としては、延長戦に入り、つば競り合いで一瞬気を抜いたところに引き面を打たれ負けてしまいました。私としては、正々堂々と勝負に臨み一杯の試合をし、自分の力を出せたと思います。この試合で、日本一の選手の力を肌で感じ、やはり一流選手は一瞬の隙を見逃さないということを痛感させられました。力の差は歴然としています。この試合で、勝負の厳しさを教えていただき、同時に絶対に勝つ、絶対に負けないという強い意志を持って臨むことが大切であることを学び、少し残念な思いが残りましたが、充実した試合が出来ました。

最後に、国土館大学を卒業後、二年目にして出場できましたことは、恒石師範のご指導と、警察剣連の先輩方との稽古のお陰だと心より感謝しています。

今後は、私が理想とする剣道を目指し、理合いを大切に、「先の気」で稽古に精進し、来年度もあの檜舞台に立てるように頑張りたいと思いますので、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

## 第60回全日本剣道選手権大会

平成24年11月3日（土） 於：日本武道館

- 1回戦 西村 佳記（高知・四段）<sup>ド</sup> 延長 興梠 亮太（大分・六段）  
2回戦 // <sup>⊗</sup> — 石井 洋幸（千葉・錬六）  
3回戦 // 延長 <sup>×</sup> 高鍋 進（神奈川・錬六）

西村（高知県警）が県勢3年ぶりの16強入り